

ご協力ありがとうございました
 記念誌などを作成するにあたり、
 今回新しく資料などを提供していただいた皆さん

50音順・敬称略

赤司 尉治	近重 澄子
池田 春重	土井 喜代子
池間 美典子	土井 強司
江口 弘子	中村 和雪
大久保 洋	西村 カズ子
藤山 健治	林田 ノブ子
神尾 直義	百武 ノブ子
北御門 直義	真崎 美枝
木下 幸	真崎 安朗
久保 スズエ	松尾 洋一
小森 榮子	宮崎 茂
材木 輝勝	宮田 拓治
清水 稟子	諸岡 千鶴
杉本 敏雄	山口 功
故・田崎 誠	山本 正毅
玉崎 一朗	渡辺 久子



あとがき

諫早は標高1,057㍍の急峻な多良岳の南側に位置し、東シナ海に続く橋湾が間近なところで、雨量の多い地域です。このため雨による災害の多い所で元禄12年(1699)にも水害で487名の死者をだしました。こうした諫早の水害史のなかでも、記憶に残っている昭和32年7月25日の水害は多大な破壊や混乱をもたらしました。そしてそれに巻き込まれた人々はいったんは悲しみのなかに沈み込んでいましたが、徐々に自然とともに立ち直りました。

現在、世界的に異常気象、温暖化といった環境となつていきます。環境の変化はそれまでにならぬ災害が身近になつたということです。私たちの暮らし、郷土もまたそのなかにあります。今回、50年前の水害の記憶を新たにし、次へ伝えることで今後の災害への意識を失わないようにしたいと思います。

あの日を忘れない

平成19年7月

発行 ● 諫早市

〒854-8601

諫早市東小路町7番1号

電話(0957)22-1500

編集 ● 秘書広報課

印刷 ● 諫早印刷株式会社

諫早市福田町20番26号

電話(0957)22-1350